



有佐小だより

令和4年2月28日

第10号

文責 岩見 浩史

祝 学校情報化優良校に認定!

有佐小学校が、日本教育工学協会(JAET)から「教育の情報化に総合的に取り組み、情報化によって教育の質の向上を実現している学校」として「学校情報化優良校」に認定されました。

これも、令和2・3年度ICT教育推進モデル校として研究・実践を積み重ねてきた賜と考えます。昨年11月の研究発表会後も、日常的に授業の中でタブレット/パソコンをはじめ、ICT機器を活用して、分かりやすい授業や話し合いの充実等に取り組んでいます。

先週開催した授業参観でも、4年生が「自分の成長や将来の夢」について、5年生が「有佐のよさ」について、プレゼンテーションにまとめて発表しました。6年生は、総合的な時間に学習したことや各行事へ最上級生として取り組んだことなどをドラマ風にまとめ、オリジナルの動画等で発表しました。シナリオ作成から動画の撮影・編集を経て完成した作品を見て、保護者もそのレベルの高さに驚かれたようでした。また、運営方法としても、様々な事情で来校できない方のために、オンラインでも参観できる「ハイブリッド型」で実施しました。

これからも、「コロナ禍だからできない」ではなく、ICT機器を効果的に使って授業や学校行事をできる限り実りの多いものにしていきたいと思います。



学校評価と県学力・学習状況調査の結果報告

2月に教師・児童・保護者の三者で実施した学校評価の結果をお知らせします。

三者を総合して高い評価だったのは、「安心・安全な環境」「感染症予防」「わかりやすい授業」「ICTの効果的活用」「学校・郷土愛」でした。一方、低い評価だったのが「言語活動の充実」「学びの活用」「基本的な生活習慣」でした。

つまり、本校の子どもたちの苦手なところは、考えを文章にまとめたり、話し合ったり、発表したりすることや、学んだことを生活の中や、他の問題に活かしたりすること、決まった時間に寝るなど、時間を意識して計画的に生活することだということがわかりました。

次に、12月に実施した「熊本県学力・学習状況調査」の結果です。国語や算数については、それぞれの学年の成果や課題があり、今年度中に補充指導を行って、弱点の克服に取り組みます。児童のアンケートでは、どの学級も「友だちのささえ」「先生のささえ」「家族のささえ」「学級の絆」が全国平均を大きく上回っていました。これは、有佐小の強みです。一方、「学習習慣」「学習意欲」「充実感と向上心」の3項目が全国平均を下回りました。今後もご家庭と協力しながら家庭学習の充実に取り組み、授業改善や教育課程の工夫により、子どもたちが意欲的に自ら学ぶ姿を求めていきたいと思います。

